

バード レオンフェルデン 国際サマーアカデミー

要 項



株式会社東京国際ツアーズ

後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

<実施概要>

2003年から開催されているこのサマーアカデミーはオーストリアで最も人気があり、かつ実践的なマスタークラスのひとつです。毎年有能な指導陣を迎え、アットホームな雰囲気の中でも集中したレッスンを行っていきます。

<マスタークラス日程>

第1ブロック： 2018年8月6日(月)～8月14日(火)

ヴァイオリン： Tanja Becker-Bender タニヤ・ベッカー-ベンダー

ヴィオラ： Thomas Riebl トーマス・ライブル

チェロ： Conradin Brodbek コンラディン・プロトベック

第2ブロック： 2018年8月14日(火)～8月22日(水)

ヴァイオリン： Mark Gothoni マーク・ゴソニー

ヴィオラ： Thomas Riebl トーマス・ライブル

チェロ： Reinhard Latzko ラインハルト・ラツコ

<開催地>

バード レオンフェルデン(リンツの北約30km)

<レッスン内容>

アクティブコース参加者は最低、60分コースを3回か、45分コースを4回の受講、セミアクティブコース参加者は最低45分コースを2回の受講になります。受講生は初回の練習のために、ピアノ伴奏曲を用意しておかなくてはなりません。成果次第で、コース期間中に教授と共にコンサートで演奏する機会が与えられます。

<参加資格>

コース初日にアクティブ・セミアクティブのコース分けオーディションが開催される可能性があります。結果によっては、受講生ではなく、聴講生としての参加になりますので、十分な準備をお勧めいたします。

渡航前にコースの決定を希望する場合は、録音した演奏曲と推薦状の提出が必要です。

<講習会参加費>

申込金：40ユーロ

受講料：アクティブコース 530 ユーロ

セミアクティブコース 380 ユーロ

聴講 230 ユーロ

<宿泊費/食事>

1泊41ユーロ(3食付き・ダブルルーム)

1泊35ユーロ(朝食+1食付き・ダブルルーム)

1泊29ユーロ(朝食付き・ダブルルーム)

シングルルームの場合は1泊につき7ユーロ追加(部屋数に限りがあります)

※滞在費は現地にて現金払いとなります

<渡航について>

リンツから約30キロ(到着時間により送迎が提供される場合があります)

リンツまではウィーンから列車で約1時間半

※ウィーン到着時間によってはウィーンでの宿泊が必要となります。滞在先、列車の手配も承ります。

また、ご希望の方には格安航空券の手配を別途承ります。

なお、お申し込み後の航空券キャンセルの場合、券種により規定のキャンセル料が発生します。手配時に詳しくご案内いたします。

<レートについての注意事項>

上記費用のレート計算につきましては、費用ご請求書発行時(お申込み受諾後)のレートを適用させていただきます。レートにより、日本円の費用が変更になる場合がございます。ご了承ください。

<申込方法>

要項挟み込みの申込書に必要事項を記入の上、東京国際ツアーズまでお送りください。
また、申込書にはパソコンメールのアドレス(ない場合は携帯のアドレス)を必ずご記入下さい。

<当社申し込み締め切り>

2018年5月31日

- ※ 渡航前にコース決定をご希望の場合の締め切りは4月13日(金)となります。その場合、事前提出物がありますので、申込書に事前コース決定ご希望の旨をお書き添えください。
- ※ 締め切り日以前でも、コースが満席となった場合は承ることができません。

<申込手続き>

申し込みに際して、事務手数料 24,840 円及び受講料の海外送金費用 8,640 円及びマスターコース授業料にあたる金額が必要となります。

<キャンセルについて>

お申し込み後のキャンセルの際はキャンセル料として事務手数料 24,840 円と海外送金費用 8,640 円を申し受けます。授業料の返金はマスタークラスの規定に準じます。

バード レオンフィールデン マスタークラス担当教授

ヴァイオリン教授:

Tanja Becker-Bender タニヤ・ベッカー-ベンダー



ハンガリー出身のヴァイオリニスト。ハンガリー・ブダペスト国立リスト音楽院で、アンドラーシュ・キシシュ、フェレンツ・ラードシュ、クルターグ・ジェルジュに師事。その後、ウィーン国立音楽大学にて、ゲルハルト・シュルツ(アルバン・ベルク弦楽四重奏団)とヨーゼフ・シヴォーに師事。ハンガリー ブダペスト国際音楽コンクールをはじめ、数々の受賞歴を持つ。ヴィオラ奏者としても賞賛を受け、ソリストとして多くの室内楽団やアーティストと共演している。1999年から2002年まで、ウィーン国立音楽大学にて、ゲルハルト・シュルツ教授の助手とヴァイオリン講師を務めた。その他多くの音楽祭や音楽学校でヴァイオリンとヴィオラの講師経験を持つ。2002年より、オーストリアのグラーツ大学でヴァイオリン教授として教鞭をとる。2016年に、シューベルトやモーツァルトの弦楽五重奏を含むCDをリリース。ハイドンからアイスラーまで、幅広い楽曲や演奏形態を得意としている。

Mark Gothoni マーク・ゴソニー



フィンランド出身のヴァイオリニスト。6歳よりヘルシンキのシベリウスアカデミーにて音楽トレーニングを始める。その後、ミュンヘンでアナ・チュマチェンコに弟子入りし、シカゴにてシュムエル・アシュケナジに、ザルツブルグにてシャーンドル・ベグに師事。複数の国際コンクールでの受賞実績を認められ、1991年にフィンランドの Jyväskylä 芸術フェスティバルにて“Debut-of-the-Year”を受賞。その後、ソリストおよび室内楽奏者として、ヨーロッパ、アメリカ、極東における主な音楽祭、コンサートホールでの演奏経験を持つ。チューリッヒとミュンヘンの室内楽団ではコンサートマスターを、2004年から2008年までは欧州連合室内楽団のリーダーと音楽監督を務め、ベルリン芸術大学のヴァイオリン教授として世界各地でマスタークラスを開催している。1998年から2011年までフィンランド、ラウマの Festivo 音楽祭にて芸術責任者を務め、2001年からはサボンリナ音楽アカデミーにて室内楽学部の学部長に就任中。

ヴィオラ教授:

Thomas Riebl トーマス・ライブル



1956年ウィーン生まれ。フェーリングガー、ペーター・シドロフ、シャンドール・ヴェーグに師事。ミュンヘンとブダペストの国際大会で賞を勝ち取り、ニューヨークのナウンバーク・コンクールで優勝、同時にエルンスト・ウォルフフィッシュ記念賞を受賞した。

クラウディオ・アバド、ホルスト・シュタイン、エド・デ・ワールト、アンドリュウ・デイヴィズ、シルヴァン・カンブレランといった指揮者と、ウィーン楽友協会、コンセルトヘボウ、カーネギーホールなどでフィンランド放送交響楽団、バイエルン放送交響楽団、ウィーン交響楽団、シカゴ交響楽団などと共演を果たしている。これまで多くの国際音楽祭に招かれている。室内楽のパートナーはジェシー・ノーマン、アンドラーシュ・シフ、オレグ・マイセンベルグ、エリザベス・レオンスカヤ、ピエール・ロラン・エマール、ジュリアード弦楽四重奏団など。1972年から1979年までウィーンのフランツ・シューベルト弦楽四重奏団に所属し、その後ウィーン弦楽六重奏団を設立(1979年から2004年)。多くのCDもレコーディングしている。

1983年よりザルツブルクのモーツァルテウム教授となり、世界中の多くのマスタークラスを指導している。多くの教え子は国際コンクールで受賞し、音楽大学の教授となったり、オーケストラや室内楽団のメンバーとなっている。

チェロ教授:

Conradin Brotbek コンラディン・プロトベック



1977年ワルシャワの音楽一家に生まれる。ポーランドで最も規模が大きく伝統あるショパン国立音楽アカデミーなどでチェロを学ぶ。2000年にジュネーブ国際チェロコンクールで2位を受賞するなど、数多くの受賞歴を持つ。ピアニストとデュオでの演奏活動も行う。デトモルト音楽大学で教授を勤めるなど、音楽祭やマスタークラスでの指導歴も豊富である。

Reinhard Latzko ラインハルト・ラツコ



現在ヨーロッパで最も人気があるミュージシャンのひとり。フランスのチェロ楽派の偉大な継承者であるアンドレ・ナヴァラに師事。室内楽団「カペラ・アンドレア・バルカ」の1999年設立当初からチェリストのプリンシパルを勤めている。古典から現代音楽まで幅広い得意分野を持ち、European Chamber Music Academyをはじめ、多くの音楽学校で教鞭をとる。バッハ音楽祭など、音楽祭での演奏経験も豊富。近年は、ウィーンでのHaydn competitionをはじめ、コンクールの審査員としても活躍している。

<お問合せ・お申込み先>

株式会社東京国際ツアーズ

観光庁長官登録旅行業 1353号 日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556

<http://abroad.ti-tours.com/> master@ti-tours.com